

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年9月5日 (2013.9.5)

【公表番号】特表2012-533322(P2012-533322A)

【公表日】平成24年12月27日 (2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-521710(P2012-521710)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/606 (2006.01)

A 6 1 K 31/57 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 P 1/04

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/606

A 6 1 K 31/57

A 6 1 P 37/06

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月19日 (2013.7.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

哺乳類被験体における遺伝子発現レベルを決定する方法であって、被験体から得られた試験試料における配列番号：1 2、1 4、1 6、1 8、2 0 及び 2 2の何れか一つに示されるポリペチドをコードする核酸の、コントロールの発現レベルに対する異なる発現レベルを決定することを含んでなり、前記異なる発現レベルは試験試料が得られた被験体における炎症性腸疾患 (I B D)の存在を示す方法。

【請求項 2】

異なる発現レベルが、配列番号：1 2、1 4 及び 1 6の何れか一つに示されるポリペチドをコードする核酸のより低いレベルの発現であり、より低いレベルの発現は試験試料が得られた被験体における I B D の存在を示す請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

異なる発現レベルが、配列番号：1 8、2 0、及び 2 2の何れか一つに示されるポリペチドをコードする核酸のより高いレベルの発現であり、より高いレベルの発現は試験試料が得られた被験体における I B D の存在を示す請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記哺乳類被験体がヒト患者である請求項 1、2、又は 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記発現レベルのエビデンスが、遺伝子発現プロファイリングの方法によって得られる請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記方法が、PCR に基づいた方法である請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記発現レベルが、一又は複数の参照遺伝子、又はそれらの発現産物の発現レベルに対して正規化される請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

少なくとも 2 つの前記遺伝子、又はそれらの発現産物の発現レベルのエビデンスを決定することを含んで成る請求項 1、2 又は 3 に記載の方法。

【請求項 9】

少なくとも 3 つの前記遺伝子、又はそれらの発現産物の発現レベルのエビデンスを決定することを含んで成る請求項 1、2 又は 3 に記載の方法。

【請求項 10】

少なくとも 4 つの前記遺伝子、又はそれらの発現産物の発現レベルのエビデンスを決定することを含んで成る請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 11】

少なくとも 5 つの前記遺伝子、又はそれらの発現産物の発現レベルのエビデンスを決定することを含んで成る請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 12】

前記 IBD 検出をまとめたレポートを作成する工程を更に含んで成る請求項 1、2 又は 3 に記載の方法。

【請求項 13】

前記 IBD が、クローン病である請求項 1、2 又は 3 に記載の方法。

【請求項 14】

前記試験試料が、結腸組織生検からである請求項 1、2、又は 3 に記載の方法。

【請求項 15】

前記生検が、回腸結腸、上行結腸、下行結腸、及び S 状結腸からなる群から選択される組織からである請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記生検が、炎症性結腸領域由来である請求項 14 に記載の方法。

【請求項 17】

前記生検が、非炎症性結腸領域由来である請求項 14 に記載の方法。

【請求項 18】

前記決定工程は前記哺乳類被験体における IBD の再発を示し、且つ前記哺乳類被験体は以前に IBD と診断され、以前に診断された前記 IBD に対して治療を受けている請求項 1、2 又は 3 に記載の方法。

【請求項 19】

前記治療が手術を含む請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記決定工程が、前記哺乳類被験体における前記 IBD の再発を示す請求項 1、2 又は 3 に記載の方法。